

(様式2)

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 沼津市立第二小学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ・Ⅴ
2 実施対象者 (学年・人数)	1～6年 148人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育・総合) ② 行事名 () ③ その他 (委員会活動) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピック開催に向けて努力したり、人の為に働いたりしている人のことを知り、競技や選手への興味を高め、自分のあこがれや目標になる人たちを応援したりや支えたりする気持ちを育てるとともに、ルールを守りスポーツに親しんだり、自分の目標に向かって努力したりする態度を育てる。
5 取組内容	10月22日(木) 「法政大学 杉本龍勇教授による走力アップ教室」 3～6年生(体育) 姿勢、歩いての動き練習から始まり、全身を使った動きをスモールステップで教えていただく。腕のふり、視線の取り方なども含め走る時のポイントを教えていただき、気持ちよく走る体験をした。 <児童の感想> ・片足ケンケンのときにどうしてもとんでいる足の方へ体が偏ってしまったり、大きく跳べなかったりしたので、運動会の個走で1位になるための課題が見つかりました。また、普段猫背なので、背筋をちゃんと伸ばして、先生や家の人のお話をちゃんと聞けるように毎日意識していきたいです。 ・かかとからついて、つま先で終わるということがわかりました。足を見ずに、目線を正面にして変えずにがんばりました。リズムをとらないといけなから、今日教えてもらったことを運動会までに体にしこんでおいて、足が速くなれるようにしたいです。

- 杉本先生の走力アップ教室に参加し、その時教えてくださった走り方で走ると、13秒だったタイムが9秒台と、格段に速く走ることができました。そこで大切だと感じたのは、人の話をしっかり聞いて、アドバイスを取り入れるということです。これから、この大切なことを心に置いておきたいです。



「杉本先生の夢講座 将来の職業について考えよう」

6年生（総合）

杉本先生から、オリンピック出場するまでの努力や夢を実現するために大事なことなどをテーマに講話いただいた。

<児童の感想>

- ぼくは、これから夢を目標にし、努力してがんばりたいと思いました。目標を達成するには、他の人と比較せず、差別、いじめなどもしないで、自分で考えて行動するというのを教えていただきました。毎日、毎日努力し続けて目標を達成したいです。
- 意志を持って、目標に近づきたいと思った。また、周りに流されず、自分自身の気持ちを大切にしつつ、他の人の気持ちを考えられる人になりたい。
- 失敗しても挑戦することが大事だと思った。何度でも挑戦すれば、いつかそれができるようになるからだ。これから夢を実現させるために、目標を持って、挑戦し続けてできるようにしたい。
- 杉本先生が「どんな目標もすばらしい。他人と比較しなくていい」と言ってくれて安心した。

1月21日（木）

「キャリア教育講座 スマートフェンシング体験」

1・2年生（体育）

沼津市スポーツ交流推進課事業の一環でシドニー、アトランタオリンピックにフェンシング選手として出場した長良将司さんを講師にスマートフェンシング体験を行った。体験前には、フェンシング競技についての説明もしていただいた。

<児童の感想>

- 先生がとてもやさしく教えてくれたので、また、やりたいです。
- 教え方が上手ですぐにやり方がわかるようになりました。選手はカッコよかったです。試合を目の前で見たいです。
- フェンシングを習ってみたいです。本物を見たいです。試合を見たいです。
- フェンシングを習って選手になってテレビに出たいです。負けたけど、今度は先生と対決して勝ちたいです。応援をいっぱいしました。



通年の活動

「体育委員会によるオリンピック・パラリンピッククイズ」
給食の時間に放送で定期的にオリンピック・パラリンピックに関するクイズを出題する企画を計画し、実施した。

<児童の感想>

- オリンピッククイズをやって、みんなにオリンピックのことを知ってもらったし、自分も知らなかったことを知れた。
- 自分もオリンピックについて興味がわいた。競技の歴史について分かった。めずらしい競技あつてが面白かった。

「オリパラ掲示板」「図書館のオリパラコーナー」

職員室前の掲示板にオリンピック・パラリンピックに関する掲示をした。昨年度、講演に来てくださった杉浦佳子さんの近況を伝えたり、今年度の運動体験の様子や感想を伝えたりする内容とした。



また、図書館には、オリンピック・パラリンピック関連の本を集めたコーナーを設置し、本を手にとりやすい環境を整えた。学校司書、図書館担当教員と連携し、児童の興味が高まるように、配架場所を工夫したり、図書委員会の児童が本の紹介などする活動をしたりした。



6 主な成果

- 継続して指導していただいている走力アップ教室は、感染症対応により実施日を変更した運動会の直前に実施できたことにより、児童の意欲向上につながったとともに、自分の力の伸びを感じられるよい機会となった。
- 本を購入したことにより、キャリア教育や道徳の学習に活用できるとともに、児童が委員会活動において、学校にオリンピック・パラリンピックについての興味を高めようとする活動を工夫するという、教師主導だけでなく、児童が考える活動につながった。

7 実践において工夫した点(事業の特色)

- フェンシング体験は沼津市のオリンピックに関する事業を活用したことで、学校の負担が少ない上に、体験は児童の印象に残るよい体験となった。また、今後も市で行われるオリンピックに関する取り組みにもつながり、児童の競技に対する興味の向上につながった。
- 学校司書と連携し、図書室にオリンピック・パラリンピック関連の本のコーナーを作った。また、本の貸し出し状況などを確認しながら、期間限定の特設コーナーを作るなどして、児童の興味を高める取組をした。

8 主な課題等	今年度は、コロナ禍の中での実践であり、外部講師を招聘することについて慎重にならざるを得なかった。オンライン等による講演の紹介もしていただいたが、学校の設備、それを扱う教員の技能などが整っておらず、実施は難しい状況であった。
9 来年度以降の実施予定	今年度と同様に、継続している事業や市との連携が考えられる体験活動等を生かしながら、できる範囲で実施していきたいと考える。